

外国語科・外国語活動 授業改善推進プラン

1 学力効果測定結果（第6学年のみ）

- ・「知識・技能」は目標値を越えたが、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」は目標値を越えておらず、育成が十分とは言えない。「知識・技能」も安心はしてられない。
- ・音声を聞いて、その音声に合うピクチャーの選択など、聞くことが十分にできていない。
- ・5年生までに小文字26字をかけるようにする。
- ・読むこと、書くことに慣れ親しむ必要がある。
- ・「話すこと（やり取り）」、「話すこと（発表）」、「書くこと」は、自分の考えを伝えたり書いたりするコミュニケーションを通じて技能を高める。「聞くこと」、「読むこと」は実際のコミュニケーションに応じて、音声を聞いたり文字を読んだりしてその内容を捉えさせる。
- ・音声を聞くことを重視することが重要。

2 児童の実態及び学習効果測定の結果分析（課題） ※第6学以外は実態で記述

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
<ul style="list-style-type: none"> ・外国語に初めて触れる児童が多く、抵抗を感じてしまうことがある。 ・活動には楽しんで参加しているが、内容を理解せずに参加していることが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しんで活動に参加している児童が多いが、内容をきちんと理解して取り組んでいない児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しんで活動に参加してはいるが、外国語を通して自分の考えや気持ちなどを伝え合うことに抵抗をもつ児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導講師との会話のやりとりを楽しんではいるが、基本的な表現を友達と伝え合う活動で活用できていない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットの習得が不十分な児童がいる。 ・外国語の聞き取りは徐々に慣れてきているが、難しさを感じる児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞いて、その内容に合うイラストの選択が十分にできていない。 ・アルファベットの正しい形を覚えていない。

3 課題や授業の改善策

	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に、色や数等の単語を聞いて、外国語指導講師の発音を真似して、繰り返し発声する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶や天気など、日常的に使える言葉を、学習の最初に発声することで、基本的な表現を覚えて、扱えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の基本的な表現に慣れ親しむことができるように、外国語指導講師の発声に続いて発声する活動を繰り返し設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間授業の最初に、外国語での簡単な会話のやりとりを取り入れ、基本的な表現に慣れ親しませる。 ・外国語指導講師やデジタル教科書で流れてくる発音を聴いて、繰り返し発音する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導講師やデジタル教科書を活用し、聞き取る機会を増やす。 ・身近な単語などの書き取りを通して、アルファベットの習得を進める。小文字26文字を書けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大文字・小文字各26字を書けるようにする。 ・リズムに合わせて発音することで、標準的な発音やイントネーションを身に付けさせる。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・色や数等の単語について、外国語で聞いたり話したりして、自分の考えや気持ちなどを伝えるアクティビティを設定し、活動することで、伝え合う力の基を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な単語のやり取りを行うアクティビティを設定し、活動することで、伝え合う力の基を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な表現でのやり取りを含むアクティビティの設定し、活動することで、伝え合う力の素地を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアやグループで基本的な表現を使った会話のやりとりをする場を設定し、自分のことを相手に伝えたり相手のことを聞いたりする活動をするので、伝え合う力の素地を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な単語や表現を使って、自分のことや友達のことを、相手に伝える活動を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活や身近なことについて、簡単な語句や基本的な表現を聞いて、それらを表すイラストや写真などと結び付ける活動をするので、伝え合うことができる基礎的な力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語に親しめるように、日常生活の中で外国語に触れる機会を増やしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語に親しめるように、日常生活の中で外国語に触れる機会を増やしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアやグループで楽しめるようなアクティビティを設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クイズやゲームを取り入れ、外国語に楽しんで失敗を恐れずに取り組むことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わからない表現や単語、そして聞き取りにくい発音などがあつた時に、進んで外国語指導講師や担任に質問できるように促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアやグループで対話する場面を設定する。

※太枠内は、特に重視する内容